

庄内に春がやってきた!!

新しくきれいな気持ちで出発します!!

庄内では3月の末から暖かい日が続き、4月の第1週にきれいな桜の花が開花しました。(酒田市某所)

4月は新しく就職した方、転勤で職場が変わった方、継続される方、様々いると思いますが、みなさん新たな気持ちで、今年一年間がんばってください。



《さくらの花言葉》(種類別)

- ◇ ソメイヨシノ … 「純潔」「優れた美人」
- ◇ シダレザクラ … 「優美」「ごまかし」
- ◇ サトザクラ、ヤマザクラ … 「豊かな教養」「善良な教育」「しとやか」
- ◇ ヤマザクラ … 「あなたに微笑む」「純潔」「高尚」「淡白」「美麗」
- ◇ フユザクラ … 「冷静」
- ◇ カンザクラ … 「気まぐれ」

庄内の地すべり地帯を守る達人たち

4月14日(火)農地地すべり防止区域巡視員辞令交付式が行われました。

農地地すべり巡視員は、地すべり防止区域を適正に管理するため、農地環境保全に理解と関心があり、巡視に便利な場所に居住し、地元の実情に精通している方を市町村長の推薦に基づき山形知事が委嘱するものです。

平成19年度から設置しており、委嘱期間は1年以内としています。



あいさつ



辞令交付



業務内容の確認



業務内容の確認

巡視員の業務内容は、集中豪雨や長雨、震度4以上の地震時に地すべり区域内を点検していただくものです。しかし、自らの安全を第一に考えて点検に当たっていただいています。

春の庄内を飾っています！

庄内チューリップ祭りが、4月26日(日)、鶴岡市の「いいいの村庄内」チューリップ園で始まります。色とりどりの花たちが見ごろを迎えており、訪れる人たちを楽しませています。

チューリップ園の広さは約70アール、今年は中咲きの「ハネムーン」をはじめ9種類の新品種を加え約70品種10万本のチューリップを色鮮やかに咲かせています。



チューリップ園を楽しむ子どもたち



きれいなチューリップ



いいいの村庄内チューリップ園

祭りの期間は5月6日(水)までで、2～6日には植物のフリーマーケット、3日には苗木のプレゼントなどの催しが予定されています。

ゴールデンウィークは目と心を癒す庄内チューリップ祭りで決まりですね。

農業用水の安定確保のために

「通越(とおりごえ)ため池」は、酒田市北沢地区にあり、昭和24年に築造されたため池です。受益面積は、535.3haで、周辺では稲作を主とした農業が行われています。

通越ため池は、平成19年1月に、底樋が破損し水を溜めることが出来なくなりました。このため、平成23年度から、ため池等整備事業で堤体等の改修工事を行い、平成26年度ついに完成し、8年ぶりにため池が満水になりました。



全景(通越ため池堤体)



斜樋



堤体

この事業に対し、ご理解とご協力していただいた地元の方々、そして市町はじめ、関係者の皆さま、5年という長い間ご指導していただき、ようやくこの日を迎えることができました、感謝申し上げます。

どこまでもつづく黄色いじゅうたん

今、庄内では菜の花が見ごろをむかえています。

三川町のいろり火の里を会場に第33回三川町菜の花まつりが行われます。今年は、三川誕生60周年を記念した新しいイベントや試食会、特産品の販売など数多くの催しを準備しています。

菜の花の見ごろは5月の連休から下旬ごろです、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。



どこまでもつづく菜の花畑をながめて・・・

七五三掛桜が満開です！

樹齢200年の風格

庄内の中山間部では一足遅れて桜の花が満開を迎えているところがあります。それは、庄内と内陸を結ぶ六十里越街道がとおる鶴岡市大綱にある注連寺の『七五三掛(しめかけ)桜』です。

この、『七五三掛桜』は、根まわり4.9m・幹まわり3.33m、高さは15mあります。樹齢は約200年と言われております。種類はカスミサクラで、花の色は初め白く咲き、散るころになると桃色になるなど、変化のわかりやすい庄内地方でも有数のサクラの大木です。

【七五三掛桜】：注連寺の境内にあります。



【大吉桜】：2009年(平成21年)に七五三掛地区が大規模な地すべりにより地区内は大きな被害を受けましたが、倒れることなく今では力強く元気に七五三掛を見守っています。(ちなみに、大吉さん宅に植えられていたことから名付けられたようです。)



～北館神社例大祭に参加してきました～

5月1日、庄内町狩川にある北館神社において「北館神社例大祭」が行われました。

戦国大名・最上義光公の家臣であった狩川城主・北館大学助利長公は、荒地を水田に変えようと、慶弔17年(1612年)から3年以上の月日をかけ、立谷沢川の水を庄内平野に引く、約32kmにも及ぶ農業用水路「北楯大堰」を完成させました。

この偉業をたたえ建立された北館神社では、毎年この時期に、神様に感謝し豊作を祈願するため例大祭が行われています。



↑ 神社参道にある鳥居です。



↑ 厳かな雰囲気の中、神事が行われました。



↑ 出羽三山神社の巫女さんによる「舞」も奉納されました。
その優雅な舞は、まるで「平安絵巻」を見ているよう？！

☆庄内平野が全国有数の米どころとして、美しい田んぼが広がっているのも、
このような先人たちの偉業があったからこそ、なのです...！

昔の農作業を再現

5月2日(土)に遊佐町の遊佐小学校学校田で、農耕馬による乾田馬耕の実演が行われました。

明治から昭和30年ぐらいまでは農耕馬による農作業が行われていましたが、現在では見ることが出来なくなっていたのを、遊佐町農耕馬文化保存会が3年前から田起こし作業の再現を行っています。

また、昔の農具の説明や小学生による三叉鍬による農作業体験も行いました。



超～低コスト水稲栽培に向けた大区画ほ場・・・

5月5日(火)、鶴岡市茨新田(西郷北部地区)にて省力かつ低コストである鉄コーティング直播栽培の実証試験が行われました。

このほ場は自動水位計等の地下かんがい管理システムを導入し、技術面・経営面からの総合的な実証を行います。

- 試験ほ場: 鶴岡市茨新田(西郷北部地区)
- 試験方法: ・直播苗立ち率、生育量把握 ・作業時間計測、省力効果、作業効率性
・自動かんがい機能調査 ・諸経費、生育、収量、品質、食味調査
- 試験品種: 「山形112号」(対照品種: 移植はえぬぎ)



◀ 問合せ先: 庄内総合支庁農業技術普及課 TEL 0235-64-2103 ▶

農業に興味がわいてきたかな？

5月17日(日)、農業体験イベントが庄内各地で行われ、鶴岡市藤島にある水土里ネットいなばの『田んぼの学校』と鶴岡市暮坪(くれつぼ)の『日本海が見える棚田農業体験』に参加してきました。

《いなば》



《暮坪》



子供たちからは「足がヌルヌルして気持ちいい」とか「ムシがいっぱいいて楽しい」などの声が聞かれました。これを機に農業やものづくりに興味を持ってくれるといいです。
農業って本当に素晴らしいものですね！

～農民たちの仲をとリモつ～

今日は、農業用用水施設について紹介したいと思います。

農業で最も大切と言われているのが『水』ですが、それを川やため池から田んぼへ流すために必要になってくるのが用水路です。中でも大きな用水路から小さな用水路に分岐させるための施設が必要で、いろんな種類のものがありますが、今回は円筒分水工について紹介します。

水田耕作が主体であった日本では、各地で農業用水の確保にまつわるいざこざが絶えず、特に東北地方の水田地帯では「血を流す水争い」と呼ばれるほどの激しい騒動がひん発しており、農業用水の正確な分水は長く懸案でした。そこで、大正年間より正確な配水が可能な円形の分水樋が考案され、昭和初期(10年ごろ)から各地で似た構造の施設が造られはじめました。



田植えのこの時期に大活躍する、円筒分水工(山形県鶴岡市たらのき代)

無料提供いたします。ぜひこの機会にご利用ください！

新緑の候、とある晴れた日ことです。

この日は天気が良かったので加茂地域の金沢地区にある漂着枯葉をいただき、畑の土づくりを行いました。

庄内の冬は大変厳しく、風浪の影響で各港に枯葉が大量に漂着してしまう問題を抱えており、山形県ではこの漂着枯葉の利活用に取り組んでおります。海からの漂着物ですが撒いてみると気になるほどではありませんでした。少しでも港の問題解決へ進めたらと思います。無料提供しておりますので、どなたでもお気軽にご利用ください。(詳しくはチラシをご覧ください)

◀利用方法▶ ◇ 既存土と混合して利用。(排水効果が期待できます)
◇ 花などのプランター土として利用(土と50:50で混合)

◀提供時期▶ ◆ 平成27年3月31日(火)～ 開放終了時期は状況を見て判断します
◆ [【提供条件及び場所はこちらをクリック】](#)

◀ その他 ▶ 枯葉は『無料』提供しております。(積込み運搬は個人負担となります)



伝説のメッケ犬と共に300年！！

庄内三大祭りの一つ『大山犬まつり』が、6月5日(金)鶴岡市大山にて開催されました。

この祭りは梶尾神社(すぎお)の例大祭でもあり、その昔、神社の裏山にすむ化け物(ムジナ)を退治したメッケ犬に由来する300年の歴史をもつ祭りです。

メッケ犬をかたどった犬みこしや、化け物に捧げたという仮女房を乗せた行列が古式ゆかしく練り歩き、華やかな「からくり山車」が繰り出します。



メッケ犬の伝説を知りたい方は ⇒ [ここをクリック](#)。(山形新聞のページ)

航海の安全と大漁を祈願して！！

6月6日(土)「いか釣り船団出航式」を見に、酒田港袖岡ふ頭に行ってきました。

「いか釣り船団出航式」は、今年で9回目を数え、港町酒田の特産品であるイカを広くアピールするという趣旨で開催しているそうです。

いか釣り船団には酒田出身者が数多く乗り組まれています。驚いたのが東南アジア系の20代の人たちが各船に2～3人乗り組んでいるとのことでした。

航海の安全と大漁を祈願し、色鮮やかな大漁旗をなびかせた船団が、五色のテープが舞う中を出航していきました。全国各地の港に立ち寄り酒田港に帰港するのが来年の1月だそうです。

無事に釣ってきて美味しいイカが皆さんの食卓にならぶ日を待ち遠しく思います。



メダカの放流！！

大きくなってね！

6月10日(水)、「ふれあいホーム家根合」の子どもたちと庄内町家根合の地域の方、総勢45名でめだかの里米水田にメダカを放流しました。

今夏の中干し期までめだかの里米水田にはなします。自然の中で卵を産み育てることによって強い子孫を増やしています。放流されたメダカは1匹あたり500個の卵を産むといわれており、中干し前のメダカ引越し作業までどのくらい増えるか楽しみです。

また、子どもたちが自然や生き物に触れることで興味を持ち、大切にすることを養っています。



先人たちが守ってきたもの(施設)

6月18日(木)日向川土地改良区で管理している、6つの「ため池」のうち3つの「ため池」の例祭に参列してきました。

この日は、数河ため池、堂見沢ため池と五台ため池の3つをまわり、先人たちが守ってきた「水」への感謝と、これからの安全を祈願してきました。



- ◇ 数河ため池……堤高12.2m、堤長109m、貯水量457,000m³
- ◇ 堂見沢ため池……堤高19.5m、堤長145m、貯水量300,000m³
- ◇ 五台ため池……堤高10.3m、堤長256m、貯水量192,000m³

アイガモで一石二鳥！？

近所の水田にアイガモの軍団が現れました。

水稲の合鴨農法とのことです。アイガモを放し飼いにより、雑草や害虫をエサとして食し排泄物が稲の養分となるため、農薬や化学肥料を減らせるそうです。

今はまだ小さいですが、秋には成長し、その後は・・・(ご想像におまかせします)



～庄内町余目の環境を保全せよ！！～

6月30日(火)に、今後庄内町で農地整備事業とかんがい排水事業が計画されている2地区の生き物調査を行いました。

この調査は、近年、土地改良事業実施に伴うコンクリート水路の敷設、水路のパイプ化が進み、生き物の棲める環境が激減している中で、今生息している生物を事業実施後も保全していくことを目的としています。人と生き物が共存する地域創出に向けた第一歩なのです。

また、土地改良法でも事業の計画・実施に際しては環境との調査に配慮することと定められています。

現地を調査した結果、たくさんの生物が確認されました。一部を紹介します。



今後、確認された生き物を保全していくための整備計画方針や整備後の維持管理方法などを地元、町、改良区、県等で構成する部会で検討していきます。

パプア州の方々との庄内めぐり

7月1日(水)、インドネシア共和国パプア州から3名の研修員が、庄内の地に視察に来られました。

山形県では、独立行政法人国際協力機構(JICA)より委託を受け、本県の姉妹州であるインドネシア共和国パプア州から3名の研修員を受け入れ、約40日間にわたり山形県農業総合研究センター等において、農業機械及び病虫害防除等に関する技術研修を実施しています。

そのカリキュラムの中に農地基盤整備研修があり、庄内の農地基盤について、現地を回りながら説明を行いました。



注連寺前にて



赤川頭首工



ランチタイム



羽黒山五重の塔



集落排水処理施設内



鶴岡西郷青果物選果場

◆ 庄内あさひ地区(地すべり対策) ⇒ 赤川頭首工 ⇒ 羽黒山五重の塔 ⇒
羽黒中央地区(集落排水処理施設) ⇒ 西郷北部地区(ほ場整備事業) ⇒
庄内砂丘地区(砂丘農業)

「みず」を大切にします！

7月22日(水)今野川と藤島川の合流地点にある、笹川土地改良区が管理する笹川第2揚水機場にて、鶴岡市羽黒にある泉保育園の園児32名、先生3名、地元関係者、総勢65名で、「わくわく川遊び」を行いました。



真夏の日差しが強く、川遊びには最高の日となりました。
初めに川や水辺での注意事や水の大切さを土地改良区の職員から話してもらい、水風船つり・金魚すくい・プール・水鉄ほう、ペットボトルいかだで川わたりと楽しく遊びました。

最後に園児たちから、お礼の踊りをプレゼントしてもらい無事終了しました。
泉保育園のみんな ありがとうございます。

メダカがいっぱい！ 田んぼから保全池へ

7月30日(木)、この日は今年6月10日に『めだかの里米水田』に放流したメダカを庄内町家根合にある、メダカ保全池へ引越す作業を行いました。

捕獲活動は、稲刈りを前に田んぼを水抜きし、メダカを再び保全池に放すため毎年この時期に行っており、ふれあいホーム 家根合の児童20人と家根合地域の子供たち10人、引率の先生、NPO関係者など合わせて約50人が参加しました。

メダカは田んぼから、せき止められた排水路に落ち、それを捕まえて保全池へ引越しました。



引越しは始めるよ～



ほらっ見て いっぱいいるよ！



学童へ帰ります。



メダカは保全池へ

児童たちは手にした網でメダカをすくい上げ「いっぱいつかまえた！」と歓声を上げ、バケツに放していました。また、タニシやドジョウ、ザリガニなどが網にかかり大盛況でした。

丁寧なまいて！おいしく育て！

8月1日(土)、そばオーナーの種まきへ行ってきました。今年のオーナー数は今のところ50名で昨年よりも増えたそうです。

種まきの参加者は20名ほどで、そばオーナーには最初から参加している石黒県議も種まきに参加したのは今回初めてだとか。



蕎麦オーナー畑



そばの種まき(丁寧にまきます)

参加者それぞれが受けもった畝(うね)に肥料を入れて、その後そばの種を丁寧にまいて、最後にさらっと土をかけて終了。作業中は熱中症にならないように冷たい湧水を飲んで、作業後はよく冷えたおいしいトマトとキュウリでクールダウン。

9月上旬には花が咲き(花見)、10月上旬に収穫、下旬に新そばを食べる会(収穫祭)が予定されています。

いっぱい捕まえるぞ！！

8月2日(日)藤島地域の夏祭りのイベントの1つとして、管内の土地改良区主催による『魚のつかみどり大会』が、藤島体育館脇のせせらぎ水路で開催されました。

今年で13回を数える恒例イベントとなり、地域の方々約600人の参加を得て大盛況となりました。

せせらぎ水路には、中学生のボランティアグループ「イワナガールズ」により金魚300匹、イワナ1000匹が放流され、子どもたちは楽しそうに魚を捕まえていました。



まずは お掃除です



カウントダウン



魚のつかみどり開始っ



いっぱいいるよ！



とれた とれた

運営には水土里ネットいなば(土地改良区)の他、中学生ボランティアや県、市、関係団体の方々が協力しました。

このせせらぎ水路の水は、ここから20km以上も離れた川から農業用の水として延々と流れたどり着いた大切な水です。

ひまわり畑に行ってきました！

『ひまわり』で元気に！

8月13日(木)、今日は天気が良かったので、鶴岡市羽黒町川代にある月山高原ひまわり畑まで行ってきました。

まだ咲き始めだということでしたが、笑顔が似合うひまわりから大歓迎され、楽しい気持ちになりました。



幸せを運ぶひまわり

「100万本のひまわり畑」として、地元農家でつくる「ハグロファーム」が2010年から耕作放棄地を活用して植えており、無料で開放しています。

やってきました。飛島アイランドへ！

8月28日(金)～29日(土)の2日間に渡り、職場の仲間と土地改良区職員、総勢14名で農道側溝の泥上げボランティアと職場研修を兼ねて、山形県唯一の離島『飛島』へ行ってきました。

☆1日目

昼前に到着し、さっそく美味しい島の昼食をとり、その後泥上げボランティア作業を行いました。



飛島へ向け出発



『しまかへ』にて



美味しいランチ



ボランティア がんばります！



いい汗かいています。



飛島は、ゆったりと気持ちのいい時間を提供してくれます。

☆2日目

職場研修と島内散策を行いました。飛島の大自然に囲まれ、いろんなことを体験し、楽しく過ごすことができました。

島民の皆さん・ご協力していただいた皆さん、そして本研修に参加された方々、本当にありがとう ございました。

うまく刈れるかな？

9月13日(日)、鶴岡市藤島のいなばの田んぼで稲刈り体験が行われました。

まずは、田んぼの先生から稲の刈り方と※からがぎ方を伝授していただいたあと、いよいよ、稲刈り体験です。刈り取りは何とかできるようでしたが、からがぎ方が難しく大人から聞きながら何とかできるようになっていました。



自分で刈って、からがいでとても楽しかった！



クイズといも煮最高お～

農業体験のあとは、秋の味覚「いも煮」が待っていました。しょう油(牛肉)、みそ(豚)、しお(鳥)の3種類で、しお味がダントツの一番人気でした。

その他にも農業等に関するクイズも出題され大盛り上がりでした。

※ からがぎ(い)：刈り取った稲を束ねること。

泥んこになりながら イネ刈り体験



9月26日(土)、やまがたの棚田20選に選ばれている『暮坪(くれつぼ)』地区のイネ刈り体験に参加してきました。

当日は秋晴れとなりイネ刈り体験にはとてもいい日よりになりました。が、足元はドロドロ、子どもたちは泥んこになりながら楽しくイネ刈り体験をしていました。



イネ刈り体験を楽しみました！



日本海を背景に ハイポーズ

～自分のミニミニ田んぼの収穫です！～

9月30日(水)、庄内町家根合にあるふれあいホーム家根合(学童)の子どもたちが、イネの花を見たことがないということから、イネの花を近くで観察できるようにと、4年前から敷地内に『ミニミニ田んぼ』を設置しております。

今日はそのイネの刈り取り作業を行いました。



自分のミニミニ田んぼの収穫

今後、みんなでおにぎりにして収穫を祝うイベントも考えています。